

アジア資料書誌作成セミナー

～タイ語・初級編～

2023年10月20日（金）
国立国会図書館
関西館アジア情報課

内容

1. タイ語の基礎知識（40分）

タイ文字と表記法、さまざまな書体

【資料1】タイ文字・記号一覧表

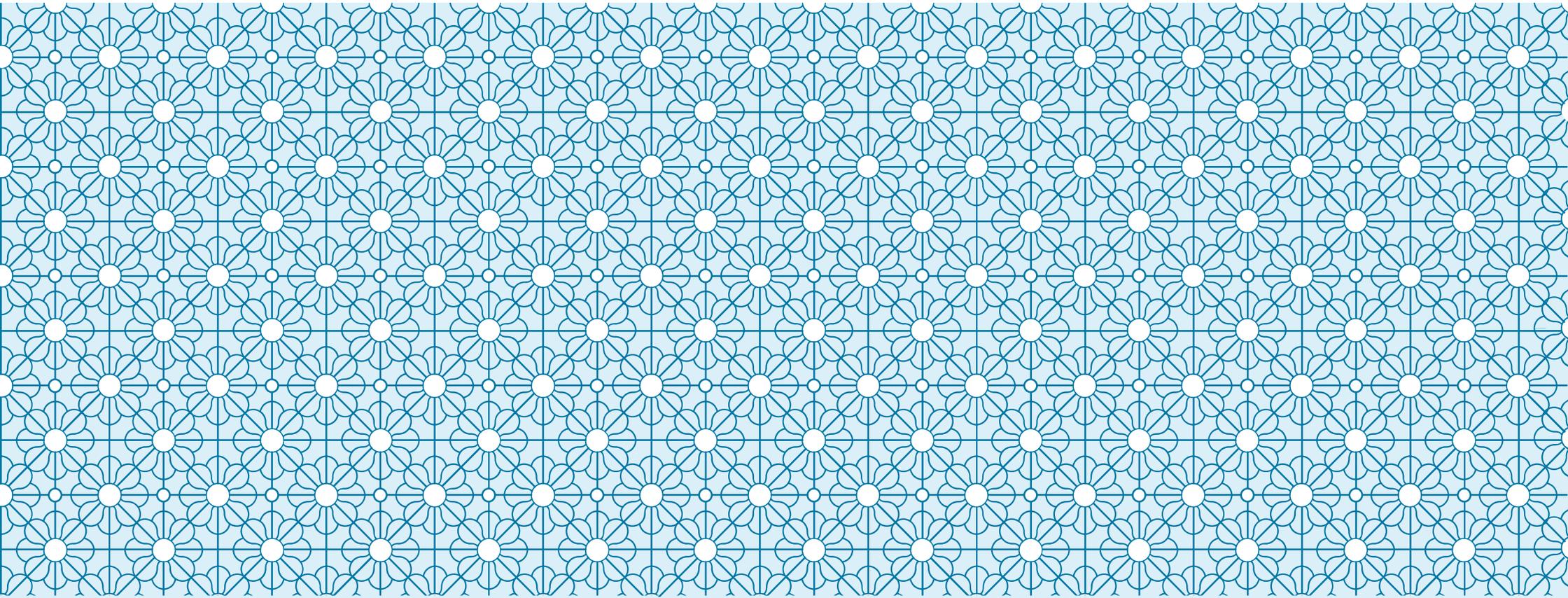
2. タイ語資料の書誌作成（40分）

タイ語資料の特徴、書誌関連用語、辞書、文字の入力、

ALA-LC翻字、翻字に役立つツール、他機関書誌の参照

【資料2】書誌情報源の例

3. 情報交換（30分）

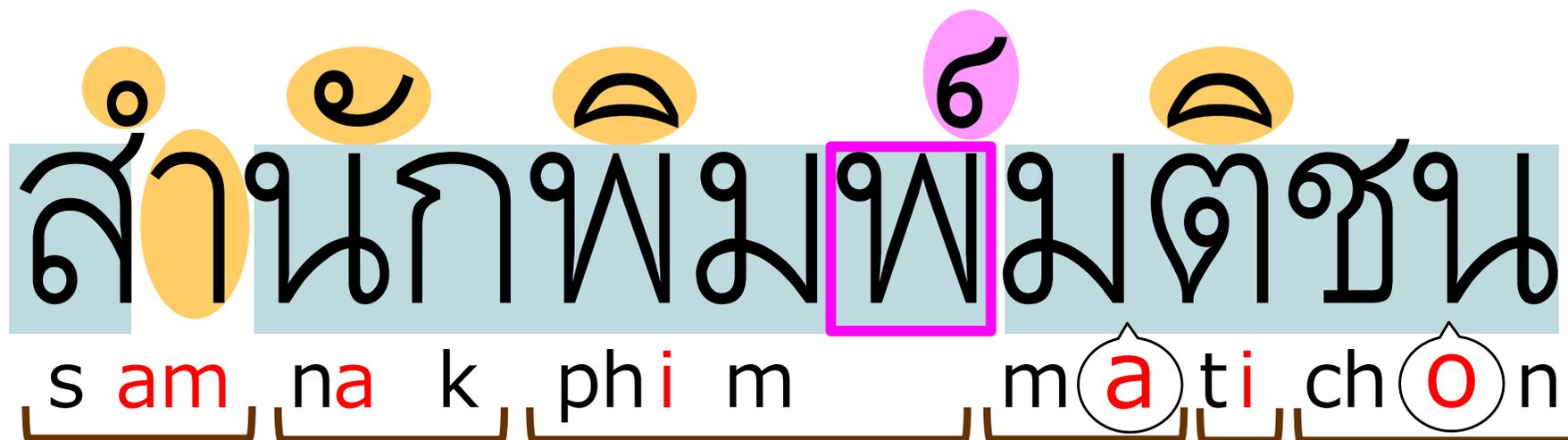


1. タイ語の基礎知識

- 文字表記に関する規則を知ろう

第1章の目標

- 文字と記号の区別ができ、読み方がわかること



[発音: Sǎmnák phim Mátichon] (LC翻字: Samnakphim Matichon)

■ 子音字 ● 母音記号 (a) 補う母音 ● 黙字記号 (読まない字)

第1章のポイント

- 資料1を参照しながら、子音字、母音記号、声調記号、その他の記号を見分ける
 - 子音字は音節内の位置によって発音が異なる場合がある
 - 表記されない音を補って発音する場合がある
 - 表記されていても発音しない場合がある
- ※ 声調規則は扱いません

タイ文字

- インド系の表音文字。左から右へ横書きする。
- 子音字、母音記号、声調記号、その他の記号、数字からなる。
- 子音字を中心に置き、その上下左右に母音記号等を付ける。



[sawàt-dii khâ]

(サワッディー カー)



「sawàt-dii」は「こんにちは」「さようなら」等、時間に関係なく使える挨拶。文末に女性は「khâ」、男性は「khráp」をつけると丁寧になる。

子音字

- 42文字（元は44文字あったが、2文字は現在ほとんど使われない）
- 同音異文字があり、単語によって文字を使い分ける
- 各文字には、その文字を使って綴る単語を添えた呼称がある
例：𑜁 は 𑜁𑜂𑜃𑜂 [koo kài]（𑜁𑜂𑜃𑜂 [kài] の k）
- 音節の最初の子音を「頭子音」、最後の子音を「末子音」と呼ぶ。
同じ文字でも置かれる位置で発音が異なる場合がある。
例：𑜁𑜂𑜃𑜂 [chabàp]（号/～の版/部） * 𑜂：頭子音 [b]、末子音 [p]
- 中子音字、高子音字、低子音字のいずれかに属する（声調の決定に関係する）

母音記号

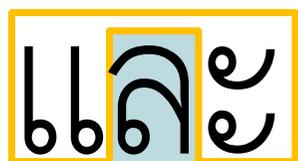
- 短母音、長母音、複合母音、余剰母音がある。さらにそれらを組み合わせた二重母音、三重母音の表記がある。
- 母音記号は必ず子音字と組み合わせる。単独では用いない。
- 母音で始まる語の頭子音は、音を持たない子音字 (41) ㇿ に母音記号が付く。
- 母音記号は末子音字がある場合とない場合で形が異なるものがある。

声調記号

- タイ語の標準語には5種類の声調がある。
- 声調記号は4種類ある。
- 声調記号が付くか付かないかは単語によって決まっている。
- 同じ声調記号でも付く子音字の種類（中高低）によって表す声調が異なる場合がある。

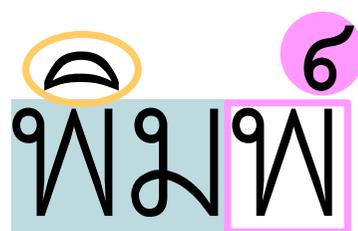
音節の基本形

- ① 頭子音 + 母音記号



頭子音字(34) ᨧ [l-] + 短母音記号(6) ᨧ-ᨧ [ɛʔ]
→ [léʔ] (~と)

- ② 頭子音 + 母音記号 + 末子音



頭子音字(28) ᨧ [ph-] + 短母音記号(2) ᨧ [i]
+ 末子音字(31) ᨧ [-m] + 黙字記号 ᨧ
→ [phim] (印刷する)

- 音節の基本要素は、子音字、母音記号、声調

表記法

- 文字や記号の多くに丸の部分があり、そこから書き始める。
- 子音字の上下に付く母音記号や声調記号は、子音字を書いたあとに書く。
- 大文字、小文字の区別はしない。
- 単語ごとの分かち書きはせず、文の意味が切れる部分で間隔をあける。
- コンマ、ピリオドに相当する文字はない。疑問符「？」は通常は使われない。感嘆符「！」は小説等で使われる。

語順

- 後ろから前に修飾する

言語 + タイ = タイ語

料理 + 辛い = 辛い料理

さん + ニサー = ニサーさん

- 語順は「主語 + 動詞 (+ 目的語) / SV (O) 」

雨 + 降る = 雨が降る。

私 + 食べる + ご飯 = 私はご飯を食べる。

私 + 否定 + 行く + 学校 = 私は学校に行かない。

* タイ語は語形変化がないため、時制は時制を表す言葉や文脈で判断する。

特殊な表記法

- ① 二重子音
- ② 疑似二重子音
- ③ 一字再読
- ④ オーナムとホーナム
- ⑤ 黙字
- ⑥ ㄱ の特殊な発音
- ⑦ 꺾, 꺾, 꺾의 発音

発音は辞書で確認できます

①二重子音

- 頭子音字が二つ続く場合、母音を介在させずに続けて発音する
- 二重子音の基本的な組み合わせは以下の通り（例外もある）

中子音字: ក្រ-[kr], ក្រ-[kɿ], ក្រ-[kw], ត្រ-[tr], ប្រ-[pr], ប្រ-[pɿ]

高子音字: ក្រ-[khr], ក្រ-[khl], ក្រ-[khw], ផ្រ-[phɿ]

低子音字: ក្រ-[khr], ក្រ-[khl], ក្រ-[khw], ផ្រ-[phr], ផ្រ-[phɿ]

- 上下に付く記号は2番目の子音字に付く
- 左右に母音記号が付く場合は2文字を1文字として扱う

例 : ក្រូ [khruu] (教師) ក្រឹ [khrɿ] (塩)

② 疑似二重子音

- 二重子音以外の組合せで子音字が続く場合は、頭子音字の後に 母音の a を補って発音する
- 上下に付く記号は2番目の子音字に付く
- 左右に母音記号が付く場合は2文字を1文字として扱う

例： สบาย [sabaai] (快適な) คณะ [khaná] (グループ/学部)

ฉับ [chabàp] (号/~の版/部) จริญ [carəən] (発展する)

※ 頭子音 + 末子音の場合は、母音記号の規則に従い母音は [o]

例： สังคม [sǎŋkhom] (社会)

③一字再読

- 多音節語において前の音節の末子音字を再読する場合がある。
まず末子音字として発音したあとに、同じ字を頭子音字として
母音の a を補って再読する

例： พัชฌยา [phátthayaa] ← [phát-tha-yaa] (パタヤ)

รัฐบาล [rátthabaan] ← [rát-tha-baan] (政府)

ศาสนา [sàatsanăa] ← [sàat-sa-năa] (宗教)

มหาวิทยาลัย [mahăawítthayaalai] ← [mahăa-wít-tha-yaa-lai] (大学)

④ オーナムとホーナム

- オーナム (อ นำ) : อของ อを発音しない (次の4語のみ)

อยาก [yàak] (~したい)

อย่า [yàa] (~するな)

อยู่ [yùu] (~にいる/ある)

อย่าง [yàaŋ] (~のように)

- ホーナム (ห นำ) : ห + 低子音単独字の ห を発音しない

หัง-[ŋ], หญ-[y], หน-[n], หม-[m], หย-[y], หร-[r], หล-[l], หว-[w] の8文字。

- 上下に付く記号は2番目の子音字に付く。

- 左右に母音記号が付く場合は2文字を1文字として扱う。

例 : หหนังสือ [nǎŋsǔu] (本)

ใหม่ [mài] (新しい)

⑤ 黙字

- 黙字記号 \square^6 の付いた子音字は発音しない。母音記号が付いている場合でも発音しない。

例：เบีย^ร [bia] (ビール) จัดพิมพ์ [càtphim] (出版する)
 สัปดาห์ [sàpdaa] (週) สิทธิ [sìt] (権利)

- 黙字記号がなくても母音記号や子音字を発音しない単語がある

① 末子音字に付く母音記号の $\overset{\sim}{\text{}}$ [i] や $\underset{\cdot}{\text{}}$ [u] を発音しない。

例：ชาติ [châat] (民族/国家) เหตุผล [hèetphôn] (理由/原因)

② 黙字記号の付いた文字に加えて、その前の文字も発音しない。

例：ราษฎร [râat] (臣民) ประวัติศาสตร์ [prawàttisàat] (歴史学)

⑥ ฦ の特殊な発音

- -ฦ (末子音なし) : 「-an」 บรรณานุกรม [bannaanúkrom] (参考文献目録)
- -ฦ- (末子音あり) : 「-a-」 ธรรม [tham] (仏法)
- 子音字 + ฦ : 「-วณ」 นคร [nakhon] (都)
- 子音字 + ฦ~ : 「-วร~」 บริษัท [borísat] (会社)
- ทร- : 「s-」 กระรวง [krasuan] (省)
- ฦ を発音しない : สร้าง [sâan] (建設する) จริง [ciŋ] (本当に)
โทร [thoo] (電話する) สามารถ [săamâat] (~できる)

さまざまな書体

กขคฅงจฉชฌจญฎฏฐฑฒณดตถทธน
บปผฝพฟภมยรลวศษสหฬอฮ (DilleniaUPC)

กขคฅงจฉชฌจญฎฏฐฑฒณดตถทธน
บปผฝพฟภมยรลวศษสหฬอฮ (RSU)

กขคฅงจฉชฌจญฎฏฐฑฒณดตถทธน
บปผฝพฟภมยรลวศษสหฬอฮ (Kanit Black)

「DilleniaUPC」「TH Sarabun New」「Cordia New」等のフォントは比較的判読しやすい。

さまざまな書体

กขคฅงจฉชฌจญฎฏฐฑฒณดตถทธน
บปผฝพฟภมยรลวศษสหฬอฮ (TH Sarabun New)

กขคฅงจฉชฌจญฎฏฐฑฒณดตถทธน
บปผฝพฟภมยรลวศษสหฬอฮ (Cordia New)

กขคฅงจฉชฌจญฎฏฐฑฒณดตถทธน
บปผฝพฟภมยรลวศษสหฬอฮ (Sriracha)

「タイ文字 フォント 一覧」等でウェブ検索するとフォントが比較できるページが見つかる。

演習① 文字の判別

มหาวิทยาลัย
เมืองเชียงใหม่

演習① 文字の判別 (ヒント)

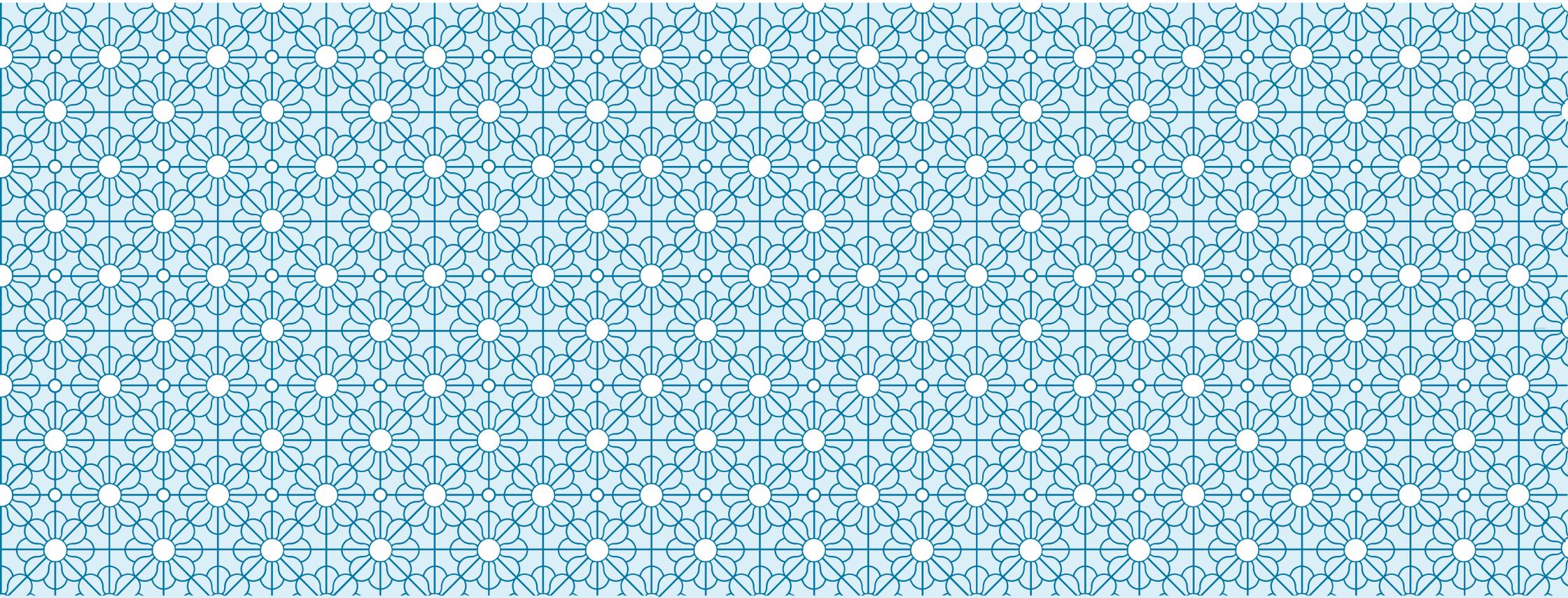


演習① 文字の判別 (答え)



วารสาร เมืองโบราณ (Wārasān Mūang bōrān)

資料 : <https://id.ndl.go.jp/bib/000003541059> (国立国会図書館オンライン)



2. タイ語資料の書誌作成

- 書誌事項を読み取ろう

タイ語資料の特徴（図書）

- 書誌事項は標題紙裏や奥付に判読しやすい書体で記載されていることが多い（表紙や標題紙はデザイン書体の場合もある）
- ISBNは付与されていることが多い（タイ数字の場合もある）
- 出版年はタイ仏暦（西暦 + 543年）の場合が多い

標題紙



標題紙裏



資料 : <https://id.ndl.go.jp/bib/028323206>
(国立国会図書館オンライン)

タイ語資料の特徴（雑誌・新聞）

- タイトルはデザイン書体のみの場合も多い
- 出版者等の書誌事項の記載場所・形式は資料によって異なり、見つけにくい場合もある
- 近年は紙媒体の休刊・廃刊も多い



ปีที่ 74 ฉบับที่ 23720 วันเสาร์ที่ 31 ธันวาคม พ.ศ.2565 ราคา 10.00 บาท

新聞 ไทยรัฐ 1面の題字部分
(題字左のロゴ及び上の文字を切り取って加工)

74年目 第23720部 土曜日 31 12月 仏暦2565 価格10.00バーツ ⇒ 第74巻 通号23720号 (2022年12月31日)

資料 : <https://id.ndl.go.jp/bib/030709621> (国立国会図書館オンライン)

書誌関連用語

• 責任表示

(読みはLC翻字)

1	โดย~	dōi~	~によって/ by~	6	เรียบเรียง	rīapriang	編集する
2	เขียน	khīan	書く/著す	7	รวบรวม	rūaprūam	編纂する
3	เขียนโดย~	khīan dōi~	~著	8	แปล	plǎe	翻訳する
4	ผู้เขียน	phūkhīan	著者	9	ผู้~	phū~	~者/人
5	บรรณาธิการ	bannāthikān	編集者				

- 人名は「名、姓」の順で記載される。1語ずつの場合が多い。

書誌関連用語

• 敬称

(読みはLC翻字)

1	นาย	Nāi~	Mr.
2	นาง	Nāng	Mrs.
3	นางสาว	Nāngsāo	Miss.
4	ดร.	Dōrō.	Dr.

5	ศาสตราจารย์ / ศ.	Sātrāčhān /Sō.	教授
6	รองศาสตราจารย์ / รศ.	Rōng Sātrāčhān /Rōsō.	准教授
7	ผู้ช่วยศาสตราจารย์ / ผศ.	Phūchūai Sātrāčhān /Phōsō.	助教授

書誌関連用語

• 出版年、版表示

(読みはLC翻字)

1	ปี~	pī ~	~年
2	พ.ศ. / พุทธศักราช	Phō. Sō. / phutthasakkarāt	仏暦 (西暦+543年)
3	ค. ศ. / คริสต์ศักราช	Khō. Sō. / Khritsakkarāt	西暦

4	พิมพ์ครั้งแรก	phim khrang ræk	初版
5	พิมพ์ครั้งที่~	phim khrang thī ~	第~版/刷
6	ฉบับ	chabap	版/部
7	ปรับปรุง	prapprung	改訂する
8	เพิ่มเติม	phoēmtoēm	増補する

書誌関連用語

• 出版者

(読みはLC翻字)

1	จัดพิมพ์	čhatphim	出版する
2	สำนักพิมพ์	samnakphim	出版社
3	บริษัท~	bōrisat	~社
4	เจ้าของ	čhaokhōng	所有者
5	จัดทำโดย~	čhattham dōi~	~によって 作成される

6	พิมพ์ที่~	phim thī~	~で印刷する/ した
7	จัดจำหน่าย	čhat čhamnāi	頒布する
8	บริษัทจำกัด	bōrisat čhamkat	有限会社
9	บริษัท~จำกัด (มหาชน)	bōrisat~čhamkat (mahāchon)	~公開株式会社
10	มหาวิทยาลัย	mahāwitthayālai	大学

書誌関連用語

• 出版地

1	กรุงเทพฯ	Krung Thēp	バンコク
2	กรุงเทพมหานคร	Krung Thēp Mahā Nakhōn	バンコク
3	กทม.	KōThōMō	バンコク
4	นนทบุรี	Nonthaburī	ノンタブリー
5	เชียงใหม่	Chīang Mai	チェンマイ
6	ขอนแก่น	Khōn Kǎen	コーンケー

(読みはLC翻字)

7	จังหวัด~/จ.	Changwat~	~県
---	-------------	-----------	----



画像の出典：外務省ホームページ
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/thailand/index.html>
 「ノンタブリー」「コーンケー」はアジア情報課が追記。

書誌関連用語

- 「ライブラリアンのためのベトナム語・タイ語用語集」
（澁谷由紀・宇戸優美子・佐藤章太編. 東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門（U-PARL）, 2021）

http://u-parl.lib.u-tokyo.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2021/11/SEA_2021glossary- asian_research_library_1.pdf

目録関係用語集。タイ語は数詞、序数詞、月名、接続詞、大学名等がタイ語読み・翻字とともに収録されている。

辞書

- พจนานุกรม ฉบับราชบัณฑิตยสถาน (王立学士院辞書)

王立学士院が発行する公式のタイ語辞書。ALA-LC翻字規則において、発音表記を参照する辞書として例示されている。最新版（2011年版）がオンラインで利用できる。

พจนานุกรม ฉบับราชบัณฑิตยสถาน พ.ศ.๒๕๕๔

<https://dictionary.orst.go.th/>

辞書

- 言語・辞書：東南アジア | AsiaLinks-アジア関係リンク集- | リサーチ・ナビ | 国立国会図書館

<https://rnavi.ndl.go.jp/asialinks/jp/dic-southeast.html>

関西館アジア情報室が運営する、アジア関係のサイトを専門としたリンク集。「言語・辞書：東南アジア」のページでタイ語のオンライン辞書も紹介している。

辞書の引き方

1. 頭子音字を見る。子音字は子音文字表の順。発音ではなく形を優先する。例：𐌺𐌽 は 𐌺 の項を見る（発音は n だが h で調べる）
2. 頭子音字に母音記号が付かない形が最初に来る
3. 母音記号の順（発音ではなく形を優先）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
— ^h	— ^u	— ^u 𐌶	— ^h (-)	— ^o 𐌶	— ^u (-)	— ^u (-)	— ^u (-)	— ^u —	— ^u 𐌶	— ^u (-)	— ^u (-)	𐌶(-)	𐌶—
15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
𐌶-𐌶	𐌶-𐌶 ^h	𐌶- ^h	𐌶- ^h 𐌶	𐌶- ^h 𐌶 ^h	𐌶- ^u —	𐌶- ^u 𐌶(-)	𐌶- ^u 𐌶(-)	𐌶𐌶(-)	𐌶𐌶—	𐌶-(-)	𐌶- ^h	𐌶- ^h	𐌶- ^h

4. 声調記号なし、声調記号あり（第1～4記号）の順

辞書の引き方

①
...กร๑...กร๓...กร๖๓...กร๗๑...กร๑๓...กร๑๓...กร๑๕...
[kròt] [krom] [kam] [krùat] [kròom] [kròom] [krà?]

- ① 頭子音字に母音記号が付かない形が最初。1つ目と2つ目の子音字が同じ場合は、3つ目の子音の順。
- ② 母音記号の -๑-[-ua-] や -๑[-oo] は、子音字としての順を見る。
- ③ 子音字が同じ場合、声調記号なし、声調記号ありの順。
- ④ 母音記号が付いている場合は、母音記号の順。

ALA-LC翻字

- ALA-LC Romanization Tables (Thai)

<https://www.loc.gov/catdir/cpsa/romanization/thai.pdf>

- タイ語ALA-LC翻字の特徴
 - 基本的には「発音に従って」翻字する
 - 声調記号は翻字しない
 - タイ語は分かち書きしないが、翻字は分かち書きする（基本は音節単位だが例外も多い。外来語や複合語は1語とする等）
 - 英語に倣って固有名詞等の語頭は大文字にする

翻字に役立つツール

① แปลงสัทสน : Plangsarn

<http://164.115.23.167/plangsarn/>

タイ文字からローマ字に変換（ALA-LC方式）。
タマサート大学図書館とタイ科学技術省国立科学技術開発庁
(NSTDA) 傘下の政府機関であるNational Electronics and
Computer Technology Center (NECTEC)が開発。

翻字に役立つツール

※ Plangsarn 使用時の注意点 (P: Plangsarnの翻字、LC: LC翻字)

■ 分かち…LC翻字で不要となっている分かちが入る場合がある

- ・ 接頭辞を持つ単語 : การส่งเสริม (促進) P <kān songscēm> →LC (kānsongscēm)
- ・ 数詞の13~19 : สิบสาม (13) P <sip sām> →LC (sipsām)

■ 大文字化…固有名詞の語頭が大文字にならないことがある

■ 一般的でない語の翻字

- ・ 人名
- ・ 外来語 : พิมพ์ (printing) P <pharin ting> →LC (phrinting)
แอนด์ (and) P <'æ> →LC ('ǣn) 黙字の前の末子音が翻字されない

翻字に役立つツール

② thai-language.com

<http://www.thai-language.com/?nav=dictionary&anyxlit=1>

タイ文字からローマ字に変換（ALA-LC方式、王立学士院のローマ字表記（RTGS）等が選択可）。※分かちが入らない。

③ Thai to Read - TLTK

<http://161.200.50.2/th2read>

タイ文字からタイ語読みに変換。チュラーロンコーン大学文学部言語学科准教授が作成。

概要は、Thai Romanization | DEPARTMENT OF LINGUISTICS

(<http://pioneer.chula.ac.th/~awirote/resources/thai-romanization.html>) 参照。

翻字に役立つツール

使用例：พัฒนาเศรษฐกิจ (経済発展) をLC翻字に変換する

① Plangsarn : (**phatthanā sētthakit**) と正しく翻字される

② thai-language.com : (phatnāsarasetkit) と誤って変換される
(末子音が再読されない、発音しない字が翻字される)

→③ Thai to Readでタイ語読みに変換 「พัด-ทะ-นา-เสด-ถะ-กิด-」 した
結果を②に入れると (phatthanāsētthakit) と正しく翻字される。
分かちば作業者が入れる必要がある。

翻字に役立つツール

④ 翻字入力用文字パレット

東京大学OPAC > 入力補助 > Romanized Thai

<https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/media/htm/key-t-e.html>

他機関書誌の参照

- LC Catalog

<https://catalog.loc.gov/>

翻字（特に分かち）の確認のために参照することが多い

- THAMMASAT UNIVERSITY LIBRARY

<https://library.tu.ac.th/search/laz>

- タイ国立図書館

<https://www.nlt.go.th/>

演習② 書誌事項の読み取り

資料2から以下の書誌事項を探してください。

- ①タイトル
- ②責任表示
- ③版表示
- ④出版地
- ⑤出版者
- ⑥出版年

(見つけた方は、LC翻字に直して意味を調べてください)

演習② 書誌事項の読み取り (答え)

① タイトル

原綴り : สารานุกรม ศาสตร์พระราชา =
Encyclopaedia of the king's philosophy

分かち : สารานุกรม ศาสตร์ พระราชา =

LC翻字 : Sārānukrom sāt phrarāchā

意味 : 国王の哲学百科事典 (仮訳)

▶ 標題紙裏の書体が、表紙・標題紙より判別しやすい

演習② 書誌事項の読み取り (答え)

② 責任表示

原綴り : ผู้ช่วยศาสตราจารย์ปรัชญา ปานเกตุ, เรียบเรียง

分かち : ผู้ช่วย ศาสตราจารย์ ปรัชญา ปานเกตุ, เรียบเรียง

LC翻字 : Phūchūai Sātrāchān Pratchayā Pānkēt, rīapriang

意味 : Pratchayā Pānkēt 助教授, 編集

▶ 肩書きと名前はつなげて書かれている

演習② 書誌事項の読み取り (答え)

③版表示

原綴り : พิมพ์ครั้งแรก

分かち : พิมพ์ ครั้ง แรก

LC翻字 : Phim khrang ræk

意味 : 初版

▶ 版表示は出版年の近くに書かれている場合が多い

演習② 書誌事項の読み取り (答え)

④出版地 ⑤出版社 ⑥出版年

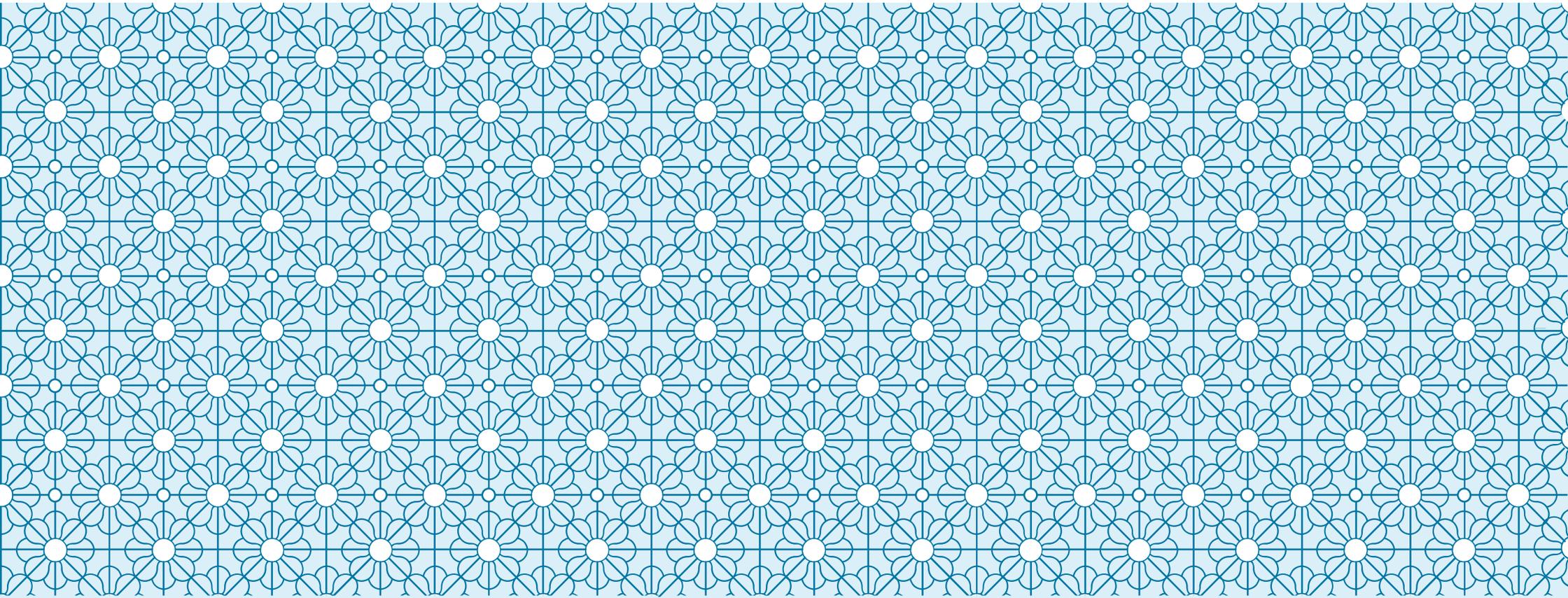
原綴り : กรุงเทพมหานคร : สยามบุ๊คส์, 2561 [2018]

分かち : กรุงเทพมหานคร : สยาม บุ๊คส์, 2561 [2018]

LC翻字 : Krung Thēp : Sathāphōn Buk, 2561 [2018]

意味 : バンコク : Sathāphōn Buk, 2561 [2018]

▶ 標題紙裏の囲みの中 (タイ国立図書館の書誌情報) にまとまっている



3. 情報交換



事前質問から (1/4)

～書誌作成～

タイの人名は長く複雑かつあまり同じ名がないと聞くため、翻字が難しいと感じているが、何かコツのようなものがあればお聞きしたい。

事前質問から (2/4)

～書誌作成～

タイ国内の図書館のデータについて知りたい。流用するのに適した国立図書館や大学図書館のデータベースや、分類はどんなものを使っているのか、など。

事前質問から (3/4)

～収集～

日本文学の翻訳作品（タイ語）や
アジア資料の刊行情報の調べ方が
知りたい。

事前質問から (4/4)

～情報共有～

アジア資料の整理について過去のセミナー資料や各館作成資料を蓄積、共有、議論できるような場が常態的にあれば良い。

ご参加ありがとうございました

- アンケートにご協力ください

ウェブ会議のURLをお送りした際に、アンケートフォームのURLもお送りしています。回答期間は、10月20日から10月27日までです。

- お問い合わせ先

講師・事務局宛てのご連絡はアンケートフォーム記載のメールアドレスへお願いします。